

2022年8月15日

大会参加者 監督者 各位

(公財)日本水泳連盟
競技委員会
医事委員会

新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（再通知）

日頃より本連盟の競技事業にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

現在、第7波と言われる新型コロナウイルス感染の急拡大が進行しております。全国各地で過去最多の感染者数を記録するなど収束の見通しが立たない状況となっております。本連盟では2月に標記の通知を発出し、それまでの「大会の参加に当たって」の条件に加え、大会参加の際には下記事項を順守していただきますようお願いさせていただきました。その後、いったん感染状況が落ち着いた中で企画された夏季秋季の競技会が開催時期を迎えた今、再びの感染拡大となりました。

つきましては、大会の開催にあたっては再度下記の内容を徹底していただきますようお願い申し上げます。選手をはじめとするすべての参加者にとって安心安全な大会となりますよう、ご理解とご協力をお願いします。

記

【参加者について】

- (1) 来場72時間以内(正当な理由がある場合は最長1週間以内)のウイルス検査(PCR、TMA、SmartAmp、抗原定量、抗原定性など)を行い、陰性を確認する(陰性証明書は不要、後日陽性となった場合に提示できるような記録は必要)。
- (2) 市販の抗原検査キットについて、原則として研究用ではなく医療用(体外診断用医薬品(薬事承認あり))のみを有効とする。
- (3) 濃厚接触者は、感染者と最終接触した日を0日として2日目および3日目に薬事承認された抗原定性検査キットを用いた検査を行い、2日目、3日目の結果が陰性であれば、3日目の陰性が確認できた時点から競技への参加を可能とする。なお、濃厚接触者の定義については国もしくは地方自治体の方針に従う。
- (4) 来場初日から遡って7日以内に所属チーム内で感染者が出た際に、出場予定の競技者が感染者もしくは濃厚接触者に該当しない場合は、(原則)来場する72時間以内の検査で陰性確認をすることで競技会出場を可能とする。
- (5) 大会期間中にチームから3名以上の陽性者が確認された場合は、チームの出場を禁止する方針であるが、その決定については競技実行委員会およびCOVID19オフィサーとの合議によって決定する。
- (6) 大会期間中に体調不良となった場合に大会実行委員会としてウイルス検査は実施しない。やむを得ずチームで検査を実施して陽性となった場合の移動等に関しては、各チームで対応すること。
- (7) 大会終了後10日以内に陽性者が発生した場合は、遅滞なく大会実行委員会に報告すること。

【移動について】

交通機関内での感染を防ぐため、移動車内での飲食を禁止、マスクの着用（目の防護をすることが望ましい）、各自で消毒用品を持ち歩くことを徹底する。

【宿泊について】

可能な限りシングルユースが望ましいが、複数人数で利用する場合には居室内でもマスクを着用し、複数人が同時にマスクを外すことがないように注意する。

【食事について】

基本的に会話をしない「黙食」とし、可能な限りチーム内で個々の食事の時間が重複しないようにする。やむなく複数が同じタイミングで摂食するときは同一方向を向いての食事が望ましく、向かい合っただけの食事は避けることを原則とする。食事前もマスクを着用とし、食後も速やかにマスクを着用する。新幹線など公共交通機関での飲食はできるだけ回避するスケジュールを組むことが望ましい。